



# 研究者紹介 私の研究

動物  
研究部

脊椎動物研究グループ  
なか え まさ のり

中江 雅典 研究員

## 『魚の“第六感” 側線の研究』

### 側線とは

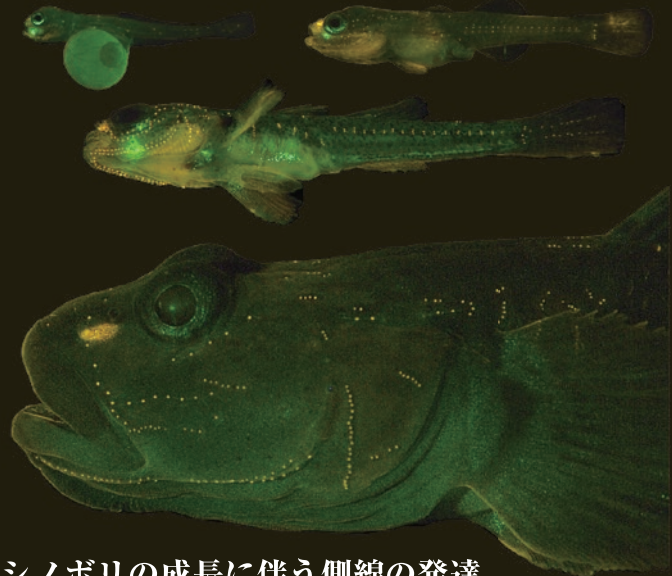
魚類や水棲の両生類には、水流を感知する「側線」と呼ばれる感覚器官があります。これは、我々がもつ五感（視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚）とは異なる、第六番目の感覚となります。

### 側線の役割

側線はエサを探したり、天敵から逃げたり、群れを作ったりするときに非常に重要な役割を果たします。視覚を退化させている魚がいますが、側線をもたない魚はいません。それほど重要な器官なのです。

### 謎

側線については、まだ不明な点が多数あります。私は基礎データを幅広く集めることによって、側線の進化の謎に少しでも近づきたいと考えています。



カワヨシノボリの成長に伴う側線の発達  
(黄色の点々が側線の受容器)

## | 研究員に聞いてみました！

### 1) 専門は何ですか？

形態に基づく魚類の系統分類学や形態学そのものです。解剖などをして、魚類の進化について考えています。

### 2) 研究者になろうと思ったきっかけは何ですか？

漠然と夢んでいた芸術家を21歳の頃に諦め、研究者になることを決意しました。遺伝子研究にも興味があったのですが、琵琶湖の近くで育ったことも影響し、魚類学者になりました。

### 3) 最近の研究活動で、最も興味深かった出来事は何ですか？

ある魚について研究を始めたところ、事前の予想とは随分と異なる結果が得られました。やはり生物は面白いですね。

### 4) 研究者になりたい方に一言アドバイスを！

才能に応じた努力をしましょう。私には才能がなかったので、時間と労力をかなり注ぎ込みました。

